

気を緩めずに感染予防「命を守る」ために



福岡県の緊急事態宣言が20日で解除の見通しです。北九州市の感染者は減少傾向ですが、小中学生の感染は依然続いています。気を緩めずに感染対策を継続していきましょう。

ご家庭での検温やチェックリストの記入など、緊急事態宣言が解除されても、これらは続けていただき、風邪症状など体調不良の場合は、登校を控えるなどの対応をお願いいたします。

学校でも、登校時の健康チェックリストの確認や校内の消毒作業など、変わらず毎日行っています。気温や湿度が高い日は、食中毒も心配です。「手洗い」をしっかりと行うように指導を行っています。

コロナ感染も1年以上続いています。子どもも大人も全ての人々のガマンが続いていますが「**命を守る**」ことを最優先に、皆で乗り越えていきましょう



ユネスコスクールの取組



本校は、「北九州市ユネスコスクール推進校」として、環境教育、人権教育等を推進する学校として指定されています。ふるさと・環境教育を教育課程に位置付け、全校で米作りや絶滅危惧種のガシャモクの保全活動を主に取り組んでいます。

先週、全校で田植えを行いました。高学年の児童は、低学年に丁寧に教えてあげながら、手つき良く植えていました。この米作りには、除草作業や肥料、水の管理など、地域の方に多大なご協力を頂いています。今回の田植えに際し、地域の渡辺さんや苗を準備して頂いた有吉さんに、心より感謝申し上げます。

今後は、6年生がガシャモクに関わる調査を継続的に進めます。24日にガシャモク自生地のお糸池で水質や生育状況の調査を行います。

これからも、子ども達が自分や自分が住んでいるふるさとに、さらに自信や誇りをもてるよう、ユネスコスクールの取組を進めてまいります。今後とも、保護者、地域の皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



各学年のガシャモクの水槽。
毎朝、水の汚れをとり、水が常にきれいな状態にしています。



「ミニお糸池」の改修工事を行いました。6年生が教務主任の山元先生から、ガシャモクについて話を聞いている様子。



学校の広い学級園で野菜を育てています。毎朝、全校で水やりなどの世話をしています。立派な野菜が育っています！